

北村薫作品を語りで愛でる

声薫る夕べ vol.5

5/21(土) ～北村薫さんご来場予定～	14時 A	18時 B
22(日)	13時 B	17時 A

(全4公演 各回定員25名 椅子席あり 要予約)

上演後、ご希望の方に建物見学の時間がございます



語りと和楽の芸人衆 かたりと…katarito…
津軽三味線・小池純一郎、語り・北原久仁香

Aプログラム 津軽三味線ぶち和 LIVE ❖『詩歌の待ち伏せ』北村薫作(文藝春秋・文春文庫)

ぶち和 LIVE では、「津軽三味線をもっと聴きたい」という有難いお声に応え、津軽民謡などをお送りします。
『詩歌の待ち伏せ』は、『本の達人』北村薫さんが、人生の折々での詩歌との出会いを描いたエッセイ評論です。
すこやかな好奇心と鋭敏な感性に心地よく耕される北村文学館へ、「語り」でお連れしましょう。

Bプログラム 津軽三味線ぶち和 LIVE ❖『歌のつくりかた』阪田寛夫作(北村薫編『謎のギャラリー 愛の部屋』新潮文庫)

『歌のつくりかた』は、北村薫さんのアンソロジー『謎のギャラリー 愛の部屋』(新潮文庫)に収められた一編。
童謡「さっちゃん」「おなかのへるうた」「ねこふんじゃった」などの作詞でも知られる阪田寛夫氏の筆による愉快なお話です。

【チケット】(一部を東日本大震災の義援金に致します)

- ・一般 ¥2500
 - ・ペア<同日時二枚セット券> ¥4500 (前売りのみ)
 - ・通し<同日A&Bプログラム> ¥4500 (前売りのみ)
- ※当日券の用意は予約状況によりますので、ご面倒ですがお問合せ下さい。

【ご予約・お問合せ】 かたりと (北原)

☎ 090(4433)5434 FAX 050(5204)3268
katarito_wagaku@yahoo.co.jp

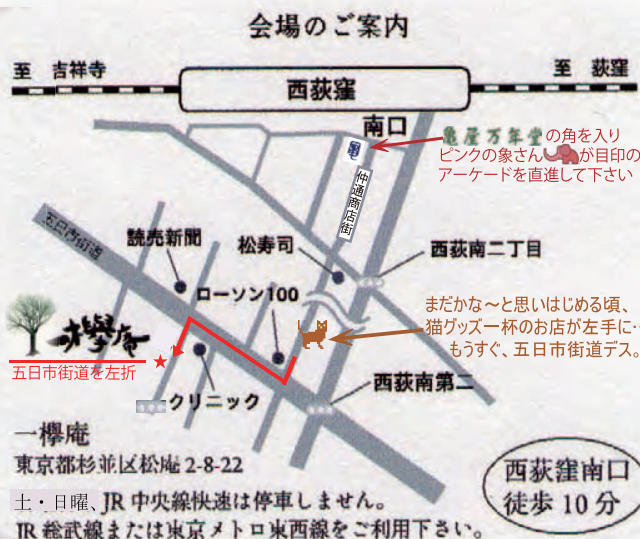
ご希望日時、チケットの種類、枚数、ご連絡先をお伝え下さい。
料金のお振込先をお知らせいたします。

<かたりとHP> <http://katarito.web.fc2.com/>



北村 薫 (きたむらかおる)

1949年埼玉県生まれ。早稲田大学ではミステリ・クラブに所属。
母校埼玉県立春日部高校で国語を教えるかたわら、89年、「覆面作家」として『空飛ぶ馬』でデビュー。
91年『夜の蝉』で日本推理作家協会賞を受賞。小説に『秋の花』『六の宮の姫君』『朝霧』『スキップ』『ターン』『リセット』『盤上の敵』『ニッポン硬貨の謎』(本格ミステリ大賞評論・研究部門受賞)
『月の砂漠をさばさばと』『ひとがた流し』『鷺と雪』(直木三十五賞受賞)『1950年のバクトス』
などがある。読書家として知られ、『詩歌の待ち伏せ』『謎物語』など評論やエッセイ、『とっておき名短編』『名短編ほりだしもの』(宮部みゆきさんとともに選)などのアンソロジー、新潮選書『北村薫の創作表現講義』
新潮新書『自分だけの一冊—北村薫のアンソロジー教室』など創作についての著書もある。新刊は父の日記を辿る
『いとま申して』(2011年2月刊)、女性編集者の「仕事と日常」のものがたり『飲めば都』(2011年5月刊)。



いっきょあん

一櫓庵のご紹介



門の傍らにある大きな櫓の木と、家を建てた祖父の名から一字採って一櫓庵と名づけました。
一櫓庵は二階建ての洋館付き和風住宅で、昭和八年に宮大工によって建てられたと伝承されています。広縁、中廊下を通してやわらかい光が射し込み、障子を開け放つと風、鳥の声が流れ込みます。簡素ながらモダンでレトロなデザインの建具に囲まれた昭和の空間で、ゆったりとした時の流れを味わって下さい。

庵主 辻 寛